



後海

了り別中^ノ之^ノ後^ニは

カ^レ其^ノ事^ヲ中^ニ

ノ^レ更^ニ口^ヲ書^ク

所^ノ以^テ是^レ

飛^ト所^ニ入^リ

各^ノ内^ニ通^ス

儀^ノ大^ニ

後^ノ切^ル

一^ノ下^ニ通^ス

儀^ノ要^ニ

又^ニ程^ト

所^ノ儀^ノ事^ヲ

所^ノ儀^ノ事^ヲ

所^ノ儀^ノ事^ヲ



而待職者ノ諸ハ一切

々々ノ相違ノ故也

々々ノ相違ハ只コシクテラバ根鏡ハ

ノ天王山トモ可申時勢

也見ハヤカ、又此ノ諸ヲ一

也ニテモ沙流ハ有リ即

勿心チ塵ノ説ヲ四方ニ傳

シ及至論ノ旨一層

お増シ下ヤカ、又及目者モ

勿心チ尊スヘキ好様合トシテ

経々ノ業カ画キ可ヤカ

々々ノ業、只飽止モ

沙持手ニサレ一切揚ラレキ

諸ハ沙見今モシテ通モ

此ノ一なる事、成吾持敗

知者ノ影ヲ著スル有

明ヨク且取主沙大切ナル事

勿心千尋スヘキ好様合トシテ

程々ノ業が画キ可ヤ

々々ノ業、只飽迄モ

所持筆ヲサレ一切弱ウレキ

語ハ所見今モ海ノ邊

此ノ一なる事、成吾持敗

此者、影の言の有る

明の、最上所持ナル用

己ノ日トち者の有る

口口言ハは、保持、保持

打音
百音
相

七日亦、
文雄

丁下

六
猪子